

今年の11月16・17日いちょう祭りがあり、八王子は秋一色になります。甲州街道の追分交差点から高尾に向かって銀杏並木が黄金色に輝いてそれはそれは見事です。天皇家の墓である御陵があるからでしょう。街道沿いには、個人のお店が軒を並べます。外国の人も行きかいます。昨年ここで徳田洋平さんに出会ったことが偲ばれます。

# 紅葉台



# 新聞

第155号  
2024年  
11月9日  
発行人：関谷 孝

## 粕谷和夫の観察日記



山梨県はブドウの生産量、日本一。その産地は甲府盆地、特に「勝沼はブドウ一色」です。昔の勝沼のブドウは、「甲州」という品種だけでしたが、その後デラウェア、巨峰、ピオーネ、シャインマスカットなどの品種が次々に登場し、今では「甲州」は少数派になってしまいました。9月29日の勝沼のブドウ畑を歩いていると「甲州」がいまだ収穫されずに残っていました。赤紫色のきれいな実、今は生食用でなく白ワインの原料として人気が高いのだそうです。



童謡「どんぐり ころころ どんぶりこ お池にはまって さあたいへん」のどんぐりはどのような形をしているのでしょうか。どんぐりの形は、先がとがった細長い楕円形が多く、球形に近い種類はクヌギです。「お池まで転がることのできる」のは丸いクヌギのどんぐりだと思います。この写真は落果する前の樹上のどんぐりで花が咲いてからこのように稔るまで2年かかります。



右の写真は9月30日に川町谷戸の「はざ掛けによる天日干しの稲とヒガンバナ」です。

下の写真は、10月4日の「高月水田のはざ掛けとヒガンバナ」です。



稲束の上を渡りの途中のノビタキがいなかったか、丹念に探しましたが出会えませんでした。モズ3羽が三つ巴の空中戦をしていました。冬に備えた縄張り争いと思われる。

## 本の紹介 老いについての考察



最近老いについて思うことがあり、まだ経験したことのない未来を予習したいと思いました。著者の久坂部羊さんは、外科医でしたが、海外の日本大使館の専属医としての経験もあり、海外の医療に関心がありました。帰国後は高齢者の施設で様々な終末期を看取ることで『人はどう老いるのか』という本を書きました。自分がこの先どんな風に生きていけばいいのか、漠然としていた思いが少し楽になりました。慌てず、驚かず、冷静に対処できることが大事ですね。目から鱗の話が盛りだくさんでした。よかったら手に取ってみてください。

## 9月20日 あんこ屋 suzu オープン!



読者からの情報です。高尾駅北口から15分程歩くと旧甲州街道があります。駒木野庭園の前に古民家を改装したお店「あんこ屋 suzu」が出来ました。前日は八王子で大雨大風雷電と嵐のような

天気でしたが、翌日は晴れて夏のような暑い日でした。店先に幡が立っていてすぐにわかります。オープンの日でもたくさんの人が買いに来ていました。

若いご夫婦が始めたお店です。以前は夫が和菓子職人で妻が動物のトリマーをしていたそうです。ですから犬などの動物を連れてきて一緒に庭で過ごしてもいいようです。お散歩がてらにいいですね。



庭には梅の木を囲む素敵なベンチがあり、どなたでもいつでも来て休めます。小部屋もあってイベントや休憩所に使えるとのこと。これから地域の「居心地のいい場所」になりそうですね。

あんこにこだわるのは、地下水を使って小豆を煮ると味も格別になるのが一番の売りだと教えてくれました。主に販売しているのがどら焼きとドーナツです。どら焼きは、黒の大納言、黒糖白粒あん。季節によって焦がしバター、練乳、リンゴシナモン、ココナッツ黒豆抹茶、黒ゴマさつまいも、かぼちゃラムレーズン、よもぎ等があります。種類が豊富でどれも美味しそうなので何度も来て買ってみたいくなりました。砂糖も控えめでカステラの柔らかさともよくマッチして、とてもおいしかったです!



また、日替わりドーナツとして、プレーン、大納言、抹茶白あん、黒蜜きな粉、ほうじ茶、八王子産ブルーベリー等があります。ドーナツはケーキのように大きくて重量感があります。これも迷いますね。ドリンクは、小豆ラテ、抹茶ラテ、カフェラテ、

コーヒー。高尾に来て遊んだ後はここで休憩するのもいいですね。

パンフレットには『高尾の自然にはぐくまれた地下水。その地下水で炊いた小豆は雑味のないふっくらとした餡子に。和菓子職人がすべて一から手作りしたお菓子と築60年の古民家でほっと一息してください』とあります。是非訪れて味わってみてください。新名所です。



定休日 月曜 (祝日は営業)  
時間 10時から18時

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。